

クラスで「エコ」工場をつくりました。この工場の生産物は、クラスみんなの「エコアクション」です。一人ひとりが、がんばってエコアクションをします。新しいエコアクションを見つけたら、クラスの「気づ木」に新しい葉っぱをはります。新しい「エコ」は、「気づ木」の葉っぱとなって、クラスの「エコの森」に生い茂ります。

私のエコアクション

環境委員会の取り組み



ぼくたち環境委員会では、掃除の時間にごみの分別当番をしています。「燃えるごみ」や「資源ごみ」「ビニールごみ」のようにかけています。きちんと分別するように注意しています。こうやって分別したごみをクリーンセンターに運んでもらうようにしています。

エコは案に取り組めるからみんなにやってもらいたいし、自分がエコをしていると思うとうれしい。

ぼくの家では、おふろは続けて入るようにしています。お湯が冷めないうちに次の人が入れれば、省エネにつながります。

まだ、使っていない部屋の電源を消していなかったり、水を出しっぱなしにしてしまうことがあるので、これからもしっかり続けたい。

電気をこまめに消す。

料理で出た生ごみなどを畑のひりょうにする。

部屋のドアをしっかりと閉める。

使わなくなった紙の裏をメモ書きにする。

シャワーを出しっぱなしにしない。使う時だけ使う。

水を出しっぱなしにしない。

ゴミの分別をしっかりとる。

ストーブの設定温度をなるべく低くする。

テレビを見ていなかったら、必ず消す。

ぼくの家で使ったペットボトルは、スーパーマーケットにもっていきます。そのペットボトルはリサイクルされます。ペットボトルについたラベルやキャップを外してから出しています。

わたしの家では、料理をしたときに出る野菜のへたや皮などを家畜や犬のえさにしています。生ごみを減らすことができます。

福祉委員会の取り組み

ぼくたち福祉委員会では、アルミ缶やベルマークを集めています。集めたアルミ缶は、回収してくれる業者さんがもっていきます。そしてリサイクルされます。全校のみんなで取り組んでいる活動です。



上田市立東塩田小学校4年生

2018年度

エコトークセッション

2019年2月1日(金)

東塩田小学校4年生32名は、生き物が住みやすい環境や生態系について学び、生き物や地球を守るために、自分たちには何が出来るかを考えました。

1

学び(座学)と感じる(体験)

座学で、エコの知識を学び、体験で、実際に見て、触れて、感じることで、より理解が深まりました。



2

シンパシーワークショップ

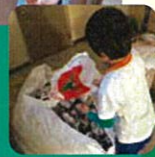
カードゲームで、川の生き物の気持ちになって自然について感じ、考えました。



3

エコアクション

毎日の暮らしのなかで、自分たちにも「エコ」ができることがわかりました。



エコ宣言

協力して 塩田のまちを守ろう

「よりよい自然を未来につな GO!」

私のエコ宣言

1

学び（座学） と 感じる（体験）

大切な地球と未来を 守るために、わたしたちができること

生き物について学ぼう

ミニビオトープにはどんな生き物がいたかな？
身近な自然から、命のつながりを感じてみよう



市民講師
宮田 賢輔さん(なまちゃん)
(Bio Garden With)



座学 体験

2018年11月13日(火)

ミニビオトープ作り

ミニビオトープ作りを通して、生き物が住みやすい環境について学びました。たくさんの生き物がくらせるようになるためには、砂や植物などの環境がとても大切ということがわかりました。生き物にはつながりがあり、1つの生き物がいなくなってしまうと、つながっている生き物たちのいのちもあぶないことを知りました。



生き物の大切さと、全部の生き物の協力がほくたち人間を支えていることがわかりました。



別に何ともないと思っていたタニシやシジミは、とてもすごい働きをするを知って、とてもおどろきました。これからも家でかかっている生き物や、しぜんの生き物を大切に、よりよいかんきょうにしていきたいです。



植物はさんそを出す。エビはそうじ屋さん。タニシもおそうじ屋さん。メダカは王様で、ドジョウは砂をまぜてバクテリアを元気にする。全部おもしろかったです。



4-1 菊池 衛 先生

想像してみよう。10年後の自分たちの《まち》を。いっただいになんかになっているのさ。20年後、30年後…は、どうなっているだろうか。自分たちの《まち》は、自分たちの《手》で創り上げていくのさ。環境学習プログラムで学んだ多くのことを《これから》に生かしていきたいですね。常に《バランス》を保ちながら。

2

シンパシー ワークショップ

2018年12月4日(火)

「川の生き物」や「人間」になってみて、 どんな気持ちになったかな？

「川の生き物」「人間」に変身して、その動物が食べている「食べ物」を取っていくカードゲームをしました。「人間」と「動物」ではちがうルールで進みます。「人間」は「動物」よりたくさんカードを取れます。「人間」が「昔の生活」から「今の生活」になると、「人間」は好き勝手に川にあるカードを取ってしまいます。さらに「ブラックカード」を「食べ物カード」のなかに置いていくことができ、このカードを引いた動物は死んでしまいます。どうすればいいのかな？



今日の授業では、人間みたいに生き物がいなくなるか、またいっぱい喜んでくれるかわかる事がわかった。



人間がげんいんをつくっていたとは思わなかったです。これからは、できることは、やりたいと思います。



人間のくらしが良くなっていくと生きものたちのくらしがこわれしてしまうことがわかりました。自分にできることはやりたいです。



生き物は少しの人間の工夫で助かることがわかった。大人になってもビルを建てても少しはかんきょうを残したい。



動物の気持ちになって考えることができてよかった。川のカベがコンクリートになってしまっても石をつんで草をやれば、魚がたくさんふえてすごいと思った。これからは、生き物を大切にしようと思った。



動物によって食べられる(取ることができる)カードが限られます。



人間は自然や動物に対して、いためつけることもできれば、逆に守っていくこともできるってことを学びました。



ゲームの後は「ブラックカード」が何か考えました。